

1. 研究活動

「Web システムの開発技術と活用方法」	2012. 3. 9	共立出版	Web システムの開発に不可欠な技術的な側面と社会的な側面の両方を体系的に理解できるように解説する。技術的な側面の解説では、具体的なプログラムコードも取り上げ、Web システムを開発するために必要な知識と技術を詳細に説明する。社会的な側面の解説では、地域コミュニティでの応用を中心に、Web システムの開発・実践例をシステムの目的や工夫なども含めて紹介し、身近な現場で重要な技術を説明する。(共著)
「ソーシャルメディアを活用したマーケティング戦略に関する考察」	2012. 3. 31	「名古屋芸術大学研究紀要」第34巻	企業がマーケティングを行うにおいてソーシャルメディアをどのように活用しているかを企業の生産活動プロセスに則して事例を調査・類型化することにより、ソーシャルメディアを戦略的にマーケティングで活用する手法を探ることを目的とし、その可能性について論ずる。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 情報機器の操作		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
少人数で授業展開し、スキルがまちまちの学生に対してレベルにあった指導を行うとともに、学生同士で教えあうことで理解を深められるようにした。	テキストの補足説明資料、理解度を確認するオリジナル課題、内容理解を促すスライドなどの作成 シンククライアント環境の活用 ファイルサーバの活用	

授業科目 マルチメディア・コンテンツ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
少人数で授業展開し、スキルがまちまちの学生に対してレベルにあった指導を行うとともに、学生同士で教えあうことで理解を深められるようにした。	具体的には学生オリジナルのデジタル教材を完成させることをゴールとするが、やる気を高めるような見本となるコンテンツを提示し、制作方法理解を促すスライドなどを作成 シンクライアント環境の活用 ファイルサーバの活用
授業科目 インターネット・コミュニケーション	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
授業で使用する Powerpoint 教材などを Web で公開することにより、授業内容の理解促進、授業進行の効率化、予復習での活用などで効果を上げた。また、理論面だけでなく、実際にさまざまなインターネットサービスを活用させ、実践力の向上にも努めた。	内容理解を促すスライド、授業内容把握度を確認するチェックシートなどの作成 Web サーバ、ファイルサーバ、メールなどの活用
授業科目 ゼミナールⅢ・Ⅳ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
Facebook を中心としたソーシャルメディアの活用をゼミナールで推進することにより、研究に関する情報の効果的な共有を可能とし、議論を深めることに役立てた。また、学園祭や幼稚園現場などにおいて、制作したデジタルコンテンツを積極的に披露し、その有効性を実証した。	研究計画書および論文の書き方、発表資料の作り方に関する資料、見本や、ソーシャルメディアに関するマニュアル、ガイドラインを作成した。

3. 学会等および社会における主な活動

情報文化学会	2000～	会員
経営情報学会	2002～	会員
日本社会情報学会	2002～	会員